

標準開示フォーマット(特定非営利活動法人用)

報告年月日

報告者氏名

当該法人における役職

1. 組織情報

■ 法人名称	特定非営利活動法人 大淀川流域ネットワーク
■ 所轄庁	宮崎県庁
■ 主たる事業所の所在地	宮崎県宮崎市鶴島2丁目9-6みやざきNPOハウス406号
■ 従たる事務所の所在地	宮崎県都城市花繰町1街区14号
■ 代表者氏名	杉尾 哲
■ 法人設立登記年月日	平成16年4月21日
■ 定款に記載された目的	この法人は、大淀川流域のネットワークとして、流域の環境保全を目的に活動している各種団体の連携を深めるための情報交換と人的交流を促進し、流域の健全な環境の向上、文化の振興に寄与することを目的とする。

■ 活動分野

<input type="checkbox"/> 保健・医療・福祉	<input type="checkbox"/> 社会教育	<input type="checkbox"/> まちづくり
<input checked="" type="checkbox"/> 学術・文化・芸術・スポーツ	<input checked="" type="checkbox"/> 環境の保全	<input type="checkbox"/> 災害救援
<input type="checkbox"/> 地域安全	<input type="checkbox"/> 人権・平和	<input type="checkbox"/> 国際協力
<input type="checkbox"/> 男女共同参画社会	<input type="checkbox"/> 子どもの健全育成	<input type="checkbox"/> 情報化社会
<input type="checkbox"/> 科学技術の振興	<input type="checkbox"/> 経済活動の活性化	<input type="checkbox"/> 職業能力・雇用機会
<input type="checkbox"/> 消費者の保護	<input type="checkbox"/> 連絡・助言・援助	

■ 事業活動の概要
(400字以内)

① 大淀川流域内の環境保全団体の連携を深めるための事業
 ② 大淀川流域の日常的な環境に関する調査・研究及び検討
 ③ 大淀川流域における流域環境向上のための事業
 ④ 大淀川流域における川文化及び川の利活用の振興のための事業
 ⑤ その他目的を達成するために必要な事業

公開用電話番号 ■ ファックス

■ ホームページ ■ メールアドレス

■ 常勤職員数

■ 認定 (認定NPO法人の場合は、チェックを入れて、以下の項目も入力)

認定年月日 認定満了日

相対値基準 絶対値基準 条例指定 仮認定

■ 閲覧書類の添付 定款

事業報告書	財産目録	貸借対照表	活動計算書/ 収支計算書
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

※閲覧書類がインターネットで公開されている団体につきましては、当該ウェブページのURLをご記入ください。

2. 財務情報

■ 事業年度(直近の決算)

平成22年度(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

■ 活動計算書/収支計算書

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益計	18478056	0	18478056
1. 受取会費	6826100		6826100
2. 受取寄附金	312950		312950
3. 受取民間助成金	1924000		1924000
4. 受取公的補助金	9405500		9405500
5. 自主事業収益 (うち介護事業収益)			0
6. 受託事業収益 (うち公益受託収益)			0
7. その他収益	9506		9506
II 経常費用計	17277810	0	17277810
1. 事業費 (うち人件費)	14839113		14839113
2. 管理費 (うち人件費)	2438697		2438697
	1229500		1229500
III 当期経常増減額	1200246		1200246
IV 経常外収益計	249500		249500
V 経常外費用計	12000		12000
VI 経理区分振替額	0		0
VII 当期正味財産増減額	1437746		1437746
VIII 前期繰越正味財産額	1383376		1383376
IX 次期繰越正味財産額	2821122		2821122

■ 貸借対照表

平成23年3月31日現在

I 資産の部	
1. 流動資産	10144472
2. 固定資産	395700
資産合計	10540172

II 負債の部	
1. 流動負債	6889050
2. 固定負債	830000
負債合計	7719050
III 正味財産の部	
正味財産合計	2821122
負債及び正味財産合計	2821122

■ 準拠している会計基準

NPO法人会計基準

その他

(その会計基準名) →

■ 監査の実施

監事監査

平成 22 年度

事業報告書

(平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人

大淀川流域ネットワーク

I. イベント部会報告書 (部会長 池辺 美紀)

1. 大淀川子ども教室

平成22年7月から8月にかけて三股町のしゃくなげの森リバーパークを活用し、「川遊びと安全教室」「カヌー体験教室」「川博士になろう」「川で作る工作教室」「川の自然観察会」など5種類のメニューで合計18回のイベントを開催いたしました。全体で200人を超える参加で、会場には笑顔と歓声が響き渡り、溪流の素晴らしさ、安全な川遊びの楽しさと同時に、心に残る夏の思い出づくりにもなっていたようです。安全教室の様子はNHK、MR Tのニュースで紹介されました。

2. 高飛び込みと水辺安全教室

平成22年8月7日、場所は三股町の矢が淵公園めがね橋で国土交通省宮崎河川国道事務所、宮崎県河川課の協力により開催いたしました。三股町や三股町教育委員会との調整が難航しましたが、安全対策としてRAC(川の指導者)やレスキューIII指導者(水難救助のスペシャリスト)の配置、PFD(ライフジャケットの着用)などを細かく計画、ふるさとの川の素晴らしさを後世に伝えたいという熱意をもって説明し、最終的に理解してもらい開催に至りました。参加者の中には初めて川で泳ぐ子どももいましたが、すぐに慣れて、子どもたちは足の届かない川で泳ぐ楽しさや、高飛び込みのスリルを楽しんでいました。

3. 河川愛護に関するシンポジウム

平成23年2月6日(日)宮崎市民プラザで、河川を中心としたまちづくりの気運の高まりや、地域を越えての意見交換や交流を望む声がある中で、県民総力戦により川づくりを進めるため、河川愛護に対する県民意識の更なる向上を図ることを目的に、河川愛護に関する活動の事例発表及び意見交換と講演、河川愛護の啓発のための体験学習(現地見学)を開催しました。

事例発表では、青柳川青空エコクラブ、荘内商工会女性部、都城大淀川サミットの活動報告がありそれぞれの立場で川を愛する活動の素晴らしさを共感していた。講演会では「大淀川と宮崎平野の歴史と地質散策」というテーマで三財病院(元田代クリニック)の医師、田代学先生から大淀川の歴史について講話をいただきました。地名の由来や石碑など普段何気なく過ごしている物に対しても興味を抱かせる内容でした。

現地見学は当日新燃岳の降灰により開催が危ぶまれたものの開始時刻には降灰無しとなったため開催に至りました。限られた時間でしたがゆっくり歩きながら大淀川河畔の石碑や歴史を学び、歩くことによって感じる事ができる宮崎の素晴らしさ散策の楽しさを満喫できました。

現地見学コース 市民プラザ→岩切章太郎像→旭通り→本町通り→橋公園→市民プラザ

4. 子ども水辺安全サポーター派遣事業

学校を中心とした3つの団体(8月6日都城市姫城キッズクラブ45人、8月8日都城市大王キッズクラブ49人、8月16日三股中陸上部58人)を対象として、PFD(ライフジャケット)の正しい装着法、川の危険箇所の学習、ロープレスキュー、救助訓練などを実施しました。

5. シニアサポーター協働事業

今年度、宮崎県長寿介護課との初めての協働事業。高齢者の自然での経験を、世代を超えて孫の世代の小学生に伝えるという主旨で実施しました。

シニアサポーターの研修会を宮崎市と都城市で行いプログラムを作成し、工作教室などの交流会を実施。自分たちのこれまでの体験が活かされるとあって高齢者のいきがい作りにもなっていました。交流の中で魚釣りなど昔の川の話などを聞いて子どもたちも温かい笑顔で参加していました。

6. 特別支援学級安全教室

平成 22 年から始まった新しい取り組みで特別支援学級を対象とした川の安全教室。教室での授業では、川に行く前の準備、川遊びの楽しさ、川の危険、もしもの場合の対処法などを学びました。23 年度も継続で体験活動としてカヌー教室を実施予定。

7. 水難事故防止講習会

平成 22 年 9 月 30 日に、宮崎西中学校の特別支援学級の児童の皆さんを対象として、宮崎市を流れる大淀川が、「私たちの生活にどのように関わっているのか？」また、「大淀川の水質がどんな状況なのか？」を勉強し、実際に大淀川でカヌーに乗ってこれからの大淀川について考えてみることを目的とした講習会を実施しました。8 名の参加があり、スローロープを使った救助方法を学び、カヌーに乗って、実際に川での体験をしました。川の楽しさ・おもしろさを学んでいただき、川で安全に活動する方法を学びました。

平成 23 年 3 月 17 日大淀川学習館にて、行政の方々を対象とした水難防止講習会を開催しました。2 名の講師、杉尾哲、池辺美紀の両名にて「河川に内在する危険箇所」「事件事例から学ぶ指導時の留意事項」「もしもの場合の身の守り方」の座学と、「基本装備と装着法」「ロープレスキュー」の実習を行いました。参加者はこれまで経験したことをふりかえったり、あらためて知ること多いようでした。ロープレスキューの実習では準備が大事であることを学びました。

II. 調査部会報告(部会長 大西正國)

1. 第7回身近な水環境全国一斉調査

「大淀川の水質調査」を実施しました。

実施日 平成22年11月20日(土)

平成16年度から「全国一斉水質調査」に参加して、大淀川流域(都城市・小林市・宮崎市・国富町)の水質を調査しています。平成22年度も、6月6日(日)に調査を実施する予定にしていた。しかし、口蹄疫の発生ため非常事態宣言が出され、多くの人が集まるイベントや大会が中止されました。これを受け、「全国一斉水質調査」への参加を中止することとしました。参加を予定されていた皆様にはご迷惑をおかけしました。

しかし、継続的に水質を測定することは重要であり、口蹄疫の非常事態宣言が解除されたことから11月20日に一斉水質調査を実施しました。

水質調査の結果は、広報誌のVol.17に掲載しています。調査地点は下記の25か所です。

高岡橋・塚元橋・新割田橋・今迫橋・岳下橋・志比田橋・乙房橋・王子橋・樋渡橋・大淀川第一発電所・沖之尾峡橋・唐崎橋・柚木崎橋・大の丸橋・花見橋・有田橋・相生橋・木前橋(萩原川)・宮丸橋(年見川)・下沖水橋(沖水川)・源野橋(横市川)・鵜島橋(庄内川)・鶴崎橋(高崎川)・岩瀬ダム(岩瀬川)・柳瀬橋(本庄川)



※ 第8回全国一斉水質調査は、6月5日(日)に調査する。

2. 川標調査

「川標調査」を実施しました。

実施日 平成 22 年 12 月 5 日（日） 調査場所 深年川・本庄川の河川敷堤防周辺
 実施日 平成 22 年 12 月 11 日（土） 調査場所 綾北川・綾南川の河川敷堤防周辺
 実施日 平成 22 年 12 月 18 日（土） 調査場所 大淀川高岡地区の河川敷堤防周辺

国交省では市民と協働で河川敷の標識の実態調査を実施しています。調査業務を受託した宮崎産業開発(株)からの依頼で実施しました。



3. 未来につなぐ「ふるさとの水辺再発見」事業

ふるさとの水辺ホームページを運営しています。

宮崎県環境管理課から委託を受け、平成 18 年度に水辺環境を簡単に調べられる指標として、「五感を使った水辺環境指標」を作成しました。この指標は、水辺の音や風景、水のおいしさ水生生物の生息状況など六項目を 四段階で判定するものです。この指標を使った水辺環境調査は、小・中学生をはじめとして一般の人にもわかりやすく誰でも参加できることから、この調査を通して広く水環境保全の普及啓発を図ることを目的に水辺環境調査の普及に努め、平成 20 年度からは「ふるさとの水辺」ホームページも運営しています。平成 22 年度には、小中学校などの 58 団体が県内の 46 河川 60 地点において水辺環境調査を実施し、延べ 1,944 人という多くの方が参加しました。その調査の様子や感想、学校の紹介を「ふるさとの水辺発表会」のページに掲載しています。



Ⅲ. 教育部会報告（部会長 高橋伸幸）

1. 大淀川ボランティアの育成

水辺環境の保全活動に関わる方々を対象に、大淀川の治水、利水、環境、安全等に関する指導者育成を目的とするいわゆるボランティア指導者養成講座として大淀川環境大学を昨年度に続いて開催した。

今年度の環境大学は設立されたばかりの都城大淀川サミットとの共催となり、都城浄化センター清流館において2日間にわたり7つの講座を実施した。出席者には、地域での環境団体の活動状況についての説明をはじめ都城盆地の河川水質の実態について、水質調査と水生生物調査についてなど盛り沢山の講義を熱心に受講して頂いた。なお、今回の受講修了生には、今後、当NPOや行政等が開催する大淀川に関する各種研修会やイベント等に協働して活動して頂くことも予定している。

日 時	場 所	参加者
平成23年2月18日	都城浄化センター清流館（都城市吉尾町）	合計 <u>26名</u>
平成23年2月19日	都城浄化センター清流館	合計 <u>29名</u>

<感想及び考察>

講習会では、地域づくりや水辺活動で活躍されている各ボランティア指導者や行政担当者らが、それぞれの視点で河川環境保全の大切さや地域で活動するための河川整備の必要性について、解りやすく解説していただくことができた。また同時に、出席者の方々には行政や各種団体との協働活動の大切さを認識していただく良い機会にもなった。

2. 未来につなぐ「ふるさとの水辺」再発見事業（平成22年度宮崎県環境管理課委託事業）

未来につなぐ「ふるさとの水辺」再発見事業では、多くの県民が水辺環境にふれあい水辺の魅力を再発見する機会を増やすとともに、誰もが親しめる水辺環境づくりを推進することを目的として、昨年度に続いて下記の5つの事業を実施した。

今年度の主な事業内容については次の通り。

- ① 水辺情報の発信内容をより充実させるため、ウェブサイトの維持管理と内容を向上させた
- ② 当NPOのHP「ふるさとの水辺」において、22年度に実施した水辺環境調査結果を「WEB発表会」として、県内の小中学校合わせて24校分を掲載した
- ③ 県内での水辺環境に関する各種イベント情報を収集の上、76件の情報をサイト上に掲載した
- ④ 過去に調査した水辺環境調査結果を「ふるさとの水辺調査マップ」として整理し、ウェブサイト版とパンフレット版の2本立てで公表した
- ⑤ 普及啓発イベントとして、子供を対象とした講座と依頼先への出前講座を含め計6回の水辺調査を実施した

<普及啓発イベント開催状況>

日 時	実 施 場 所	参 加 者
平成22年 5/7. 14. 21. 28	宮崎県立農業高校 八重川	食品工学科生徒6名 先生1名
平成22年 6月10日 (木)	都城市 庄内川	都城市庄内商工会女性部 34名
平成22年 7月20日 (月)	倉岡小学校、有田橋下大淀川	倉岡小学校4年1組34名 先生4名
平成22年 8月 6日 (金)	柳瀬橋下本庄川	ふるさと発見宿泊学習 20名
平成22年10月 7日 (水)	都農町 川北南橋上名貫川	都農南小学校3年生 67名
平成23年 1/19. 26. 2/3	宮崎大学教育学部附属小学校	附属小学校5年生 42名



<イベント出席者からの声&考察>

- ・ 農業高校では、河川浄化水を「ジョーカー」と命名し河川環境改善のため今後も継続して調査予定
- ・ 河川環境の悪化に及ぼす生活雑排水の影響を強く感じた（庄内商工会女性部）。
- ・ 調査結果は良くなかったがふるさとの川の実態を知り、川を大切にしようという意識が高まった。
- ・ 地域の環境について関心を深めてもらう良い機会になった。
- ・ 宮崎市役所付近の大淀川のことを知る生徒が少なく、また、全体的に自然と触れ合う機会が少ない印象を受けた。また、この一連の調査を通して、自然と触れ合うことの楽しさ・面白さを感じてもらい、環境問題に関心を深めてもらう良い機会にもなった。

3. エコツアーガイド養成講習会の開催（平成22年度宮崎県観光振興課 観光振興応援事業）

大淀川下流域の地域資源を活用した着地型ガイドツアーの事業化を目指す宮崎県観光振興課の観光振興応援事業の一環として、平成23年3月5日・6日・21日の3日間のカリキュラムで「エコツアーガイド養成のための講習会」を開催した。

講習会出席者には、座学や実習を通して大淀川下流域にある自然・歴史・文化などの地域資源についての講習をはじめエコツアープログラムの企画立案のあり方やエコツアーガイドとして必要とされる知識・技術等について習得して頂いた。また、講習会の後半には、受講者それぞれが散策ルート（案）を考案してもらい、併せて平成23年度4月以降に行なう試行ツアーに向けての課題や問題点についても協議して頂いた。

なお、受講修了者にはツアーガイドの機会を提供し、今後の宮崎の活性化に寄与して頂くことも予定している。

「宮崎県自然豊かな水辺の工法研究会」を開催しました。

第4回うるおいのある川づくりコンペ

実施日 平成22年8月27日(金) 場所:宮崎県企業局県電ホール

発表団体数 11団体

特別講演 講師 九州電力(株)宮崎支店 村上俊樹

題名 一ツ瀬ダム・貯水池の濁水長期化に対する実効性のある対策について

研修会(講演)

実施日 平成22年9月28日(火) 場所:宮崎県企業局県電ホール

講師 宮崎大学農学部教授 三浦 知之

題名 河口域と干潟に形成される豊かな生物相とその保全について

講師 九州大学工学研究院教授 島谷 幸宏

題名 多自然川づくりにおける河岸処理の基準について



実施日 平成22年11月15日(月) 場所:シーガイアワールドコンベンションセンター

平成22年11月16日(火) 場所:マリエールオークパイン延岡

講師 NPO 法人大淀川流域ネットワーク代表理事 杉尾 哲

題名 宮崎県自然豊かな水辺の工法研究会

講師 九州地方整備局河川部地域河川調整官 田上敏博

題名 これからの川づくりについて

実施日 平成23年1月17日(月) 場所:マリエールオークパイン延岡

平成23年1月18日(火) 場所:ニューウェルシティ宮崎

講師 九州大学大学院工学研究院学術研究員 一柳 英隆

題名 川の変動、生き物の生活

講師 国土交通省河川局河川環境課企画専門官 吉田邦伸

題名 河川環境行政の最近の状況

実施日 平成23年3月3日(木) 場所:シーガイアワールドコンベンションセンター

平成23年3月4日(金) 場所:マリエールオークパイン延岡

講師 国土技術政策総合研究所環境研究部主任研究官 大沼克弘

題名 河道特性の把握とその河道整備・管理への応用

講師 九州地方整備局河川部河川工事課課長補佐 吉村 俊一

題名 川づくりの設計及び施工管理のあり方

第3回身近な水辺のモニター報告会

実施日 平成23年3月18日(金) 場所:宮崎県庁6号館

発表団体数 10団体



この研究会は、宮崎県が当法人との協働事業の実施組織として設立したもので、河川等に関する行政や企業の技術者に対して、全国的な施策である「多自然川づくり」の理念のみならず、この理念をいかに宮崎という地域に適用していくのかという具体論も実践的に学べる機会を提供しています。研修会等の講師には、県内の大学や行政関係者の他に、県外から多自然川づくりに関する全国トップクラスの研究者を招いて開催しています。

IV. 広報部会報告(部会長 小菌勇)

広報部会は当 NPO 法人会が目指している、大淀川に清流を取り戻そうと各部会が行っている事業を大淀川流域の人々に広く知らせるために、見やすく関心を寄せて頂く紙面に構成しました。

一面には最近めったに見ることのない子どもたちの高飛び込みの記事にしました。これは川の楽しい遊びのなかで川の安全な所、危険な所を学ぶことを目的としています。

二面には毎年行っています水質検査です。これの数値の結果が地域住民の川をきれいにしようという意識改革に繋がることを願っています。

三面より以降は、観光と大淀川を活用した高校生の修学旅行のカヌー体験、大淀川周辺のエコツアー開発、河川環境調査等の記事としました。

機関紙「大淀川流域ネットワーク TIMES」17号は、紙面 A4、6 ページ 10,000 部を発行しました。配布先は、都城市、国富町、綾町、高原町の全域ほか関係機関に配布しました。特に都城の公民館連合会の協力で、合併前の都城市全域は配布できました。

事務局においては、内容も充実しホームページによるタイムリーな情報発信ができました。

その他に事業の案内チラシ、ポスターの作成を行いました。



V. 評価部会報告(部会長 忝下信芳)

平成 22 年度の事業活動について報告致します。

各部会毎に実施された各事業活動については、各部会にて順調に消化され、おおむね高評価されるものと思います。また、各部会間の連携が不足し全会員参加による活動が望まれません。

① 会員・賛助会員の加入促進について

平成 21 年 4 月 1 日現在 個人会員 124 名 賛助会員 12 名

平成 23 年 4 月 1 日現在 個人会員 122 名 賛助会員 13 名

毎回、加入促進について提起されていますが、実行されていません。会員増は団体組織維持の基本であります。最優先的に取り組むべきである。

大淀川環境大学にて、指導者・活動家の養成を各地域（中流域・下流域）にて実施されるよう指摘いたします。

② 水環境、ホタル類 1000 里地調査について

環境省及び財団法人日本自然保護協会より指定された、祝吉ホタルの里（都城市）調査は、現地祝吉ホタルの里保存会、都城市、花繰メダカ学級の協力により

ホタル類個体調査 4 回

水質環境調査 年 4 回

その他、水路の整備、浄化作業に参加しました。保存会も都城市の推薦により住友ゴム㈱の助成金を受ける事になり、地元としても益々充実した活動を継続する決意であり、本ネットワークとしても地元保存会に謝意を表し事業継続調査体制の確立に努めます。以上 2 点を報告し、意見等をお願いします。

平成22年度「特定非営利活動に係る事業会計」財産目録

平成23年3月31日現在

特定非営利活動法人 大淀川流域ネットワーク

(単位:円)

科目・摘要	金額		
I. 資産の部			
1 流動資産			
現金 現金手許有高	206,184		
普通預金 宮崎太陽銀行本店 1191875	2,965,110		
宮崎銀行宮崎支店 52429	1,477		
宮崎銀行宮崎支店 54618	1,104,151		
宮崎太陽銀行本店 1313660	1,046,384		
宮崎中央郵便局 115516	543,000		
未収入金 助成金	4,278,166		
流動資産合計		10,144,472	
2 固定資産			
契約保証金 宮崎県観光推進課	322,700		
修繕積立金 宮崎文化本舗	73,000		
固定資産合計		395,700	
資産合計			10,540,172
II. 負債の部			
1 流動負債			
未払金 広報誌印刷代ほか	6,829,750		
前受金 次年度以降会費	13,000		
預り金 源泉所得税	46,300		
流動負債合計		6,889,050	
2 固定負債			
長期借入金 理事1名より	830,000		
固定負債合計		830,000	
負債合計			7,719,050
正味財産合計			2,821,122

平成22年度「特定非営利活動に係る事業会計」貸借対照表

平成23年3月31日現在

特定非営利活動法人 大淀川流域ネットワーク

(単位:円)

科目・摘要	金額		
I. 資産の部			
1 流動資産			
現金	206,184		
普通預金	5,660,122		
未収入金	4,278,166		
流動資産合計		10,144,472	
2 固定資産			
契約保証金	322,700		
修繕積立金	73,000		
固定資産合計		395,700	
資産合計			10,540,172
II. 負債の部			
1 流動負債			
未払金	6,829,750		
前受金	13,000		
預り金	46,300		
流動負債合計		6,889,050	
2 固定負債			
長期借入金	830,000		
固定負債合計		830,000	
負債合計			7,719,050
III. 正味財産の部			
1 前期繰越正味財産		1,383,376	
2 当期正味財産増加額		1,437,746	
正味財産合計			2,821,122
負債及び正味財産合計			10,540,172

特定非営利活動法人 大淀川流域ネットワーク 収支決算報告書（平成22年度）
（平成22年4月1日から平成23年3月31日）

科目	予算額	決算額	備考
1 会費・入金会収入	250,000	88,000	個人会員63/124・賛助会員5/11
2 事業収入	1,910,000	6,738,100	
参加費	240,000	90,500	大淀川子ども教室
		53,000	大淀川流域子ども教室
		2,500	川遊びと川の安全教育
	200,000	0	RAC初級指導者養成講習会
	70,000	116,500	RACインストラクター養成講習会
		1,400	河川愛護に関するシンポジウム
	1,400,000	146,200	観光振興応援事業
		6,328,000	宮崎県自然豊かな水辺の工法研究会
3 補助金等収入	2,100,000	1,267,000	
大淀川子ども教室	700,000	400,000	河川環境管理財団
RAC初級指導者養成講習会	200,000	0	川に学ぶ体験活動協議会
大淀川子ども自然体験教室	300,000	300,000	笹川スポーツ財団
川遊びと川の安全教育	100,000	155,000	九州建設弘済会
RACインストラクター養成講習会	200,000	112,000	川に学ぶ体験活動協議会
九州子ども交流会 in 宮崎	500,000	200,000	九州地方計画協会
ふるさとの川の水質浄化に向けての取り組み	100,000	100,000	宮崎市環境保全課
4 受託事業	5,727,000	10,062,500	
河川愛護に関するシンポジウム		252,000	宮崎県河川課
子どもの水辺安全サポーター派遣事業		713,000	宮崎県河川課
未来につなぐ「ふるさとの水辺」再発見	1,500,000	1,563,000	宮崎県環境森林部環境管理課
観光振興応援事業	3,227,000	3,227,000	宮崎県観光推進課
宮崎県自然豊かな水辺の工法研究会	1,000,000	1,000,000	宮崎県河川課
水難事故防止講習会		283,500	宮崎河川国道事務所
多世代交流・子どもの自然体験教室事業		800,000	宮崎県長寿介護課
河川の水質浄化の啓発活動		300,000	全国浄化槽組合
特別支援学級の児童を対象とした大淀川カヌー体験		328,000	NTTドコモ
九州川標プロジェクト		1,596,000	宮崎産業開発
5 その他	401,824	322,456	
		50,950	市民活動博覧会
		506	預金利息
		262,000	寄付
		9,000	RAC更新料9000
6 その他資金収入			
契約保証金		249,500	
当期収入合計(A)	10,388,824	18,727,556	
前年度繰越金	1,383,376	1,383,376	
収入合計(B)	11,772,200	20,110,932	

II 支出の部			
科目	予算額	決算額	備考
1 事業費	9,227,000	19,123,048	
大淀川子ども教室	700,000	700,144	人件費 通信運搬費 消耗品費 広報費 雑費 交通費
RAC初級指導者養成講習会	200,000		口蹄疫の影響で中止
大淀川子ども自然体験教室	300,000	353,000	人件費 交通費 消耗品費 印刷費 広報費 通信運搬費 借料 保険料
川遊びと川の安全教育		310,000	人件費 借料 印刷費 交通費 材料費 役務費
RACインストラクター養成講習会	200,000	228,500	謝金 旅費 印刷製本費 通信運搬費 賃借料 消耗品費
九州子ども交流会 in 宮崎	500,000	700,144	通信運搬費 印刷製本費 企画立案料 交通費 賃借料 謝金 事務管理費
ふるさとの川の水質浄化に向けての取り組み	100,000	100,943	報酬 旅費 需用費 役務費
河川愛護に関するシンポジウム		253,400	報酬費 賃借料 印刷費 参加者景品代 旅費 人件費 需用費
子どもの水辺安全サポーター派遣事業		713,196	報酬費 旅費 需用費 役務費 賃借料
未来につなぐ「ふるさとの水辺」再発見	1,500,000	1,563,000	ホームページの維持管理 水辺環境調査の普及
観光振興応援事業		3,844,576	報酬費 旅費 需用費 賃借料 新規雇用者人件費 その他の人件費 職員手当 共済費
宮崎県自然豊かな水辺の工法研究会	5,627,000	7,037,200	人件費 講師謝礼 旅費交通費 消耗品費 保険料 賃借料
水難事故防止講習会		283,500	人件費 交通費 賃借料 消耗品費
多世代交流・子どもの自然体験教室事業		800,000	人件費 交通費 通信運搬費 謝礼金 印刷費 消耗品費 保険料
河川の水質浄化の啓発活動	100,000	626,405	交通費 印刷費 消耗品費 通信費
特別支援学級の児童を対象とした大淀川カヌー体験		13,040	消耗品 交通費 平成23年度9月までの事業
九州川標プロジェクト		1,596,000	
〔事務局 運営管理費等〕		△ 4,283,935	
2 管理費	1,715,200	2,438,697	
人件費	1,500,000	1,229,500	1人(@91,000) × 12ヶ月 時間外手当
水道光熱費	45,000	37,765	NPOハウス電気代(平成22年4月～平成23年3月)
事務用品費	10,000	171,435	パソコン 蛍光灯他 ファイル インク
印刷費	140,000	168,409	印刷費
保険料	20,000	64,176	労働保険
租税公課	71,000	14,400	印紙
旅費交通費	40,000	179,800	理事会交通費等
通信費	150,000	209,812	電話代 インターネット
地代家賃	242,400	242,400	NPOハウス家賃(平成22年4月～平成23年3月) 20,200円×12月
諸会費	30,000	41,000	川に学ぶ体験活動協議会 九州流域連携会議
雑費	160,000	80,000	経理事務所 80,000
予備費	60,000		
※一般管理費既計上相殺分	△ 753,200		
3 借入金返済	830,000		
4 その他の資金出			
修繕積立金		12,000	
当期支出合計(C)	11,772,200	17,289,810	
当期収支差額(A)-(C)		1,437,746	
次期繰越収支差額(B)-(C)		2,821,122	

III 収支	収入	¥20,110,932
	支出	¥17,289,810
	収支差額	¥2,821,122